

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 16日

事業所名 ぼくらカンパニー

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		部屋の構造上、部屋が小分けになっており、それぞれの特性や用途に合わせて、分けて支援の提供を行っている	学習室が個人面談で使えないときの工夫がある
	2	職員の配置数は適切である	○		利用者数を確認し、シフトにて確認している	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	段差などは視覚的に安全に過ごせるよう工夫している	現在必要ない利用者はいないがバリアフリーはマンションの構造上難しい
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		スタッフとミーティングを行っている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケート結果をスタッフ全員で共有する	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		当事業所のホームページに掲載している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者評価は取り入れていないが関係機関との連携の中で振り返り改善している
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修内容を社内で勉強会を設けている	研修等に参加できる限り積極的に参加するようにしている
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者の意見や要望を丁寧に聞き取りをした上でお子さまやお子さまを取り巻く環境を考慮し、必要な課題や支援を取り入れた計画書を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			できる限り標準化されたアセスメントツールを反映させた支援を行うよう心がけている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		スタッフの得意分野でアイデアを出し合っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		お子さまの特性を考慮した上で特性に合わせてプログラムをチームで行っている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		平日は学校へ通うことを考慮しルーティン化した内容にし、長期休暇や休日は長時間になるので細かくスケジュールを決め、課題や目標が達成できるようメリハリのある内容にしている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		状況に合わせて、個別活動、集団活動を取り入れた活動内容を行い、放課後等デイサービス計画を作成している	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		開始前に十分に時間が取れない時はメモ等で伝達を行っている	平日は出来ているが、長期休みの時のミーティングをもっと確保したい
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援終了後は送迎等で忙しいので、業務の開始前にミーティングをしたり、記録を共有することで行われている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の記録は、担当したスタッフが必ず記入している	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		指導員も含め皆で考えている	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し等行うようにしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○			活動は基本活動を意識して行っているが、活動自体に参加できない情緒的な問題も加味しながら工夫したい

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		職員の意見を取りまとめ、管理者・児発管が会議に出席し、報告や情報共有をしている	できる限り、担当のスタッフも同行して、説明出来たらよいと思う
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校担任等連携し時間割等の確認をしている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			現在、医療的ケアの必要な方の利用がない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		障がい児相談支援事業所や保護者から聞き取りを行い、情報共有した上で支援を行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		卒業前の担当者会議で行っている	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		関係機関と情報交換している	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		この項目については望まない保護者、本児が多くあえて設けていない
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡報告は常に行っている 写真など用いることもある	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		ペアトであれば、病院等で行われるものに保護者も参加されていることから、個々の家庭課題のアドバイスに重きを置いている	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に丁寧に説明をしている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		面談のみならず電話やメールでも行っている	
	32	保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		ママカフェと称して行っている	コロナ禍で回数は少なかったが催している。進路相談も先輩保護者に話し合う場を設けている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情についてはすぐに対応し、迅速かつ適切に対応している	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		定期的に会報紙を発行、配布し、活動概要やご様子などお知らせしている。	引き続き行いたい
	35	個人情報に十分注意している	○		ファイルの保管場所や取り扱いの注意をミーティング等行っている	研修機会を増やし意識を更に高めたい
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		必要な時は分かりやすい言葉で文書化してお伝えしている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	地域の方々に当事業所のことをよく理解して頂く努力をしている	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			契約時にご説明しているが、伝わっていない方も数名だがいらっしやっただので、再度アナウンスしたい
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年2回行っている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修を行っている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		契約時に説明を行っている	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			現在アレルギーの件で医師の指示書があるお子さんはいない
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットはその都度作成し情報を共有しています。	ヒヤリハットをスタッフ全員が関心を持つようにしたい